

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：新潟

グループ： 1班

2022.08.18

オンラインは  
こうなるべき！



Online activities should be like this.

# オンラインのメリットとデメリット

## • メリット

- 通信障害などで思うように話せない
- 遠方からでも気軽に授業に参加できる
- 集中できる
- 外部の講師
- 海外の人との交流

## • デメリット

- わからないことを共有しづらい
- サボりがち
- 通信障害などで思うように話せない
- デバイスに個人差がある（環境）



# オンライン授業のこれから

- オンラインという環境に適した授業内容を考える必要がある
  - 従来の1対大勢という形だと、生徒個人が発言する機会が少なくなる
  - 少数のグループを作って討論する
  - 集中力が続かない、対面でならすぐ終わる
  - 作業に時間がかかってしまう

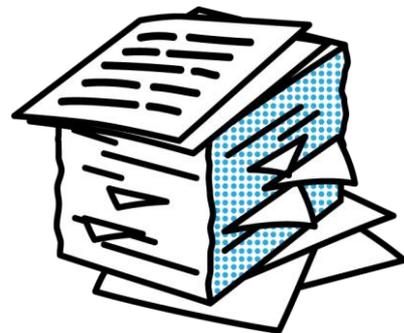
時間配分を対面授業よりも短くしてみる

予め使う環境に慣れさせることで時間短縮を図る



# 学校という仕組みを最適化していく

- 学校から遠いところに住んでいる人でも授業以外の負担を減らしたい
  - 教材の導入方法を変える
    - 電子決済・自宅へ配送することで登下校で持たなくて良くなる
    - PDF化されたものを学校から配信する
- 友達同士の交流が少なくなる
  - 何気ない日常会話などがなくなってしまう
  - コミュニケーションを取るハードルが高い

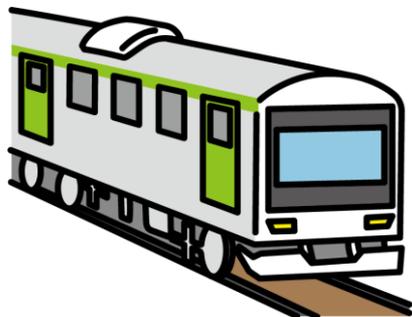


そこで・・・

# オンライン環境の強化 & 個人の適応

## オンラインの利点

通学に苦勞しなくて済む！♪



## 対面の利点

会話がスムーズに進められる！（^^）



コミュニケーションを  
疎かにしないため！！

オンライン環境は通信・移動という観点では非常に便利であるが、会話やコミュニケーション等の精神的な面ではまだまだ未発達と言える。

# 充実した情報に関する授業を設ける

オンラインではスムーズに進めることが難しい

→個人のオンライン環境や知識不足による機器不調など

**まずは利用者の  
教育をするべき！！**

周辺機器の頼らずともある程度の知識をつければ  
オンラインの設定であったり、トラブルが起きた  
時でも対応できる。また小学校など早いうちから  
知識を身に付けることでオンラインの環境になれることができる。



# こうすれば・・・！！

## 環境整備

ラグの発生やネット環境の差  
→発言のタイミングが掴めない  
→円滑な授業×

テキストの電子化→ 経済面での負担軽減  
対面での授業→ 友達と切磋琢磨しあう  
授業形態・集中力↑

## オンラインと 対面の共存





ご清聴ありがとうございました

